

仙台を拠点に活躍する

民族歌舞団 元気印のほうねん座

## 「お祭りきゃらばん」公演

「お祭りきゃらばん」の魅力は、芸能の持つ躍動感を舞台上の役者がエネルギーに演じているところにある。浜松公演燃えています。

### ★ 主な出し物

虎舞・三宅島太鼓・霊山太鼓・八木節・水口囃子・じゃんがら念仏・八丈島太鼓・荒馬・獅子舞・屋台の囃子

『みんなと一緒にやらないか！』 今回の話はこんなふうに始まりました。9月7日（金）めだかの学校開校日。実はこの日の夜、秋田県角館のお祭りに行くため欠席のつもりでしたが、出発まで少々時間があつたので、せめて顔だけでも出していこうと出席する事にしました。PM6:30 振鈴の音が鳴り響き授業開始。加茂さんの草笛に合わせてめだかの学校斉唱。ここまではいつも通り。そしていつもにもまして声の大きい（失礼！）榎原さん登場。12月9日、ほうねん座・お祭りきゃらばんの公演をめだかで行う事になりました。場所はまほーる、なんと1500人が入れる会場です。ハイ、一緒にやりたい人？、たくさんの手がー斉に挙がる。こうらん、さすがはめだか！、自分も遅れる事なく手を挙げました。続いて「ハイ、それじゃ実行委員長やりたい人？」「はい！」榎原さんの大声につられ勢いで手を挙げてしまいました（笑）こうしてめだかの中で一番計画性と金銭感覚のない人間が実行委員長になってしまいました。

めだかの学校だよりの  
おもしろい人立

平成 13 年 10 月 30 日  
特別号  
学舎：いなさ自然休養村  
くつみくさ  
事務局：引佐郡引佐町  
東久留女木 472-111  
TEL053-545-0381

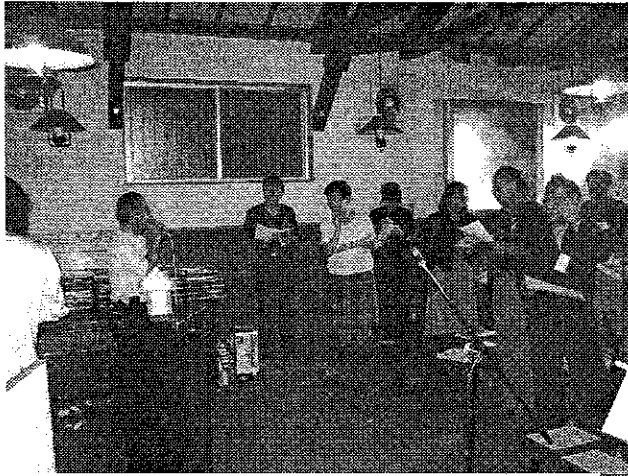
「ほうねん座」は三十数年前に宮城県で結成された民族歌舞団、全国各地でエネルギーギッシュな舞台活動をおこなっています。今回は天龍村の関さんから話がまわってきたらしい。「うーん、1500人かあ...」こんな私でも少しは考える。しかし幸いにも頼りがいのある世話好きな副委員長が2人、しっかり者の会計さん、さらにそうそうたる顔ぶれ（？）の実行委員「何とかなるら」このあたりが実に自分らしいところ。早速9月13日に第一回目の実行委員会を開催。まずいくつかの部会を作ることに。根回しが好きな人、券の販売を受け持ってくれる人、演出に關わってみたい人、広告PRをやってくれる人などそれぞれ得意分野に分かれてもらいました。そうしているうちに話は進み、大まかな作業内容、日程が出来上がっていました。「たいしたもんだわい」めだかの学校も9年目、大人の自覚を持った人の社交の場として大勢の方々と出会う事ができました。男も女もなく歳も関係ない、肩書もいらない人と人との付き合い。ここでしか知り合うことのできなかつたあの人の人：「誰が生徒か先生か？」の歌詞通り、誰もが主役誰もが脇役、一人一人の個性をお互いに認めあい尊重しあう素晴らしい仲間たち。こうした中で今回の話、めだかで培った人間関係、信頼関係をもとにやってみるか！とて感じます。「やりたいけど忙しいから...」とても券を売る自信がなくて、そんな声も聞きました。でもご安心を！忙しい人でも出来る事はたくさんあります。無理に券を売ってもらう事もありませぬ。一人何枚ではなくみんなで何枚という考え。人には必ず得手不得手があります。得意な事を無理にやってもいい結果は出てきません。自分の興味のある部分、得意な分野と方法で自分なりの一生懸命が一番大事。そんな一人一人が集まった時素晴らしい結果に結び着くのです。自分自身の中での充実感、達成感はもちろん、頑張った人だけが共有できる素敵な感動を味わうために。さあ、みんなと一緒にやらないか！

ほうねん座実行委員長 鈴木武史

## めだかの学校伝言板

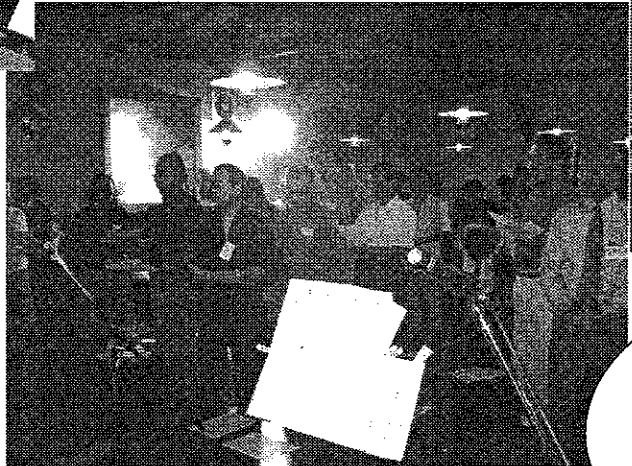
めだかの学校特別教室を開催します。楽しみましょう。

- ・民族歌舞団ほうねん座「お祭りきゃらばん」
- ・日時 平成13年12月9日（日）PM3:00 開演
- ・ところ 浜松市教育文化会館（はまホール）（浜松市利町・五社神社横）
- ・入場料 大人2,500円 子供1,000円（中学生以下）
- ・主催 ほうねん座「お祭りきゃらばん」公演実行委員会・おもしろ人立「めだかの学校」
- ・共催 三遠南信ひとネットワーク「ゆめまる」
- ・後援 浜松市文化協会・浜松市教育委員会・浜北市教育委員会・磐田市教育委員会・天竜市教育委員会・湖西市教育委員会・引佐町教育委員会・細江町教育委員会・豊田町教育委員会・豊岡村教育委員会・静岡新聞社・SBS 静岡放送・静岡エフエム放送・浜松エフエム放送・中日新聞東海本社・朝日新聞浜松支局・毎日新聞浜松支局・読売新聞浜松支局
- ・この公演に関するお問い合わせは——引佐郡引佐町東久留女木 472-111 リンデンバウム内 おもしろ人立「めだかの学校」事務局 榎原幸雄 053-545-0381



「めだかの学校」“建学の精神”を  
唱和します。全員起立して下さい。  
私が最初に言いますので、つづ  
いてください。～原邦司用務員

原ちゃん、ちょっと肩に力が  
入りすぎてますヨ！  
リラックス、リラックス！！

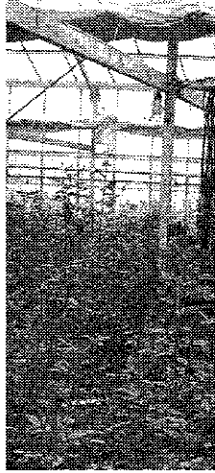


事務局から  
第33回の聯  
をやること  
「〇〇〇  
りたい人」  
です」。



私のテンブラ美味しいわヨ！

「ウン。なかなか難しいもの  
だね。」似合っていますヨ。ご両  
人！！——



◇「福岡からの給食当番」  
前回はいきなり給食当番の指名を受け、今回はめだかのみなさんの再会を楽しみに浜松までの一人旅。昼食は溝口久メダカ奥様の料理を御馳走になり、匂坂前校長先生のお宅へ、ハウスの薔薇さんたちに挨拶をして、いよいよ給食当番。回子作りに汗を流し、めだかの皆さんと大いに歌うことが出来ました。楽しい週末をありがとうございました。そして今回もたくさんの方々とお会いし、皆さんの元気を頂くことが出来ました。またお会いできる日を楽しみにしています。  
福岡県椎田町 信田淳

◇大いに歌おう 天まで届け！  
とてもなごやかな雰囲気です。さすがめだかの学校の生徒達。芸達者、個性派揃いの面々で感心するばかりでした。歌を歌っている時の皆さんの顔を拝見していると、それぞれの人柄がしのばれる様な、ゆったりとした面持ちで、子供の頃に思いを馳せているかのごとく、本当に楽しそうでした。大きな声を出さずともいいですね。私は音楽を楽しむ事すら忘れてちの毎日です。(日々の生活に追われて心のゆとりが無いので)。まして、昨今の明るいニュースの少ない中で、こんな時間を持つ必要性を感じました。まだ2回目の参加で、心隔に気後れの感じが否めませんが、しかしです、今回も含め、皆さんから元氣印をいただいで明日への活力に変えていきたいと思っしています。さあ！秋の夜長にオカリナの練習でも始めようかな？。機会があれば、またこのような授業を楽しみたいです。  
浜松市 藤野はつえ

◇「青春時代に火がついた」  
心の中に暖めてありました、青春の思い出の歌を心の底から大声で歌うことが出来たことは大変盛り上がりました。めだかの生徒の皆さんも歳を忘れ、気持ちの若さに火がつき燃えしましたね。  
めだかの学校の原点に帰った一夜でありました。  
磐田郡豊岡村 深澤明男

# 盛り上がりで盛り上がった 第33回めだかの学校

「めだかの学校」は元氣印!

12月に特別教室。ほうねん座『お祭りきやらばん』公演を企画—

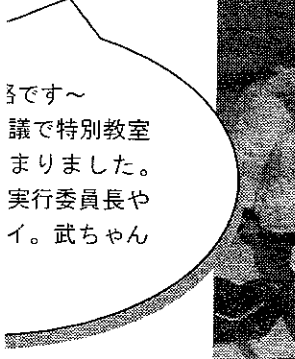
元氣! ほんとに「めだか」は元氣。「去りゆく夏を惜しみながら、大いに歌おう天まで届け!」と、提出された好きな歌は「ふるさと」から「川の流れるように」まで。その中から25曲。"お腹の底からワオ"。青春時代へタイムスリップ。詳細は事務局だよりに譲るとして—。

『世の中、後ろ向き話題が多すぎるよ。明るく前向きに元氣に行こうよ』— そんな思いのとき、コロツと転がってきたのが、これまた元氣印の、仙台を拠点に活躍している、民族歌舞団ほうねん座『お祭りきやらばん』の話。第33回職員会議にはかったところ、「やろう、やろう」。決まれば早い。会場探しから、実行委員の募集。自薦他薦で実行委員50人。9月7日の学校で、「実行委員長やりたい人」「ハーイ、鈴木武史です」。こんな調子で副実行委員長2人、会計一人まで決まってしまった。こんな雰囲気につられた訳ではないけれど、ほうねん座の大山捷夫さん。氣持よさそうに「安木節」を踊って宣伝を忘れてしまい、ついには「めだかの学校」へ入学してしまった。

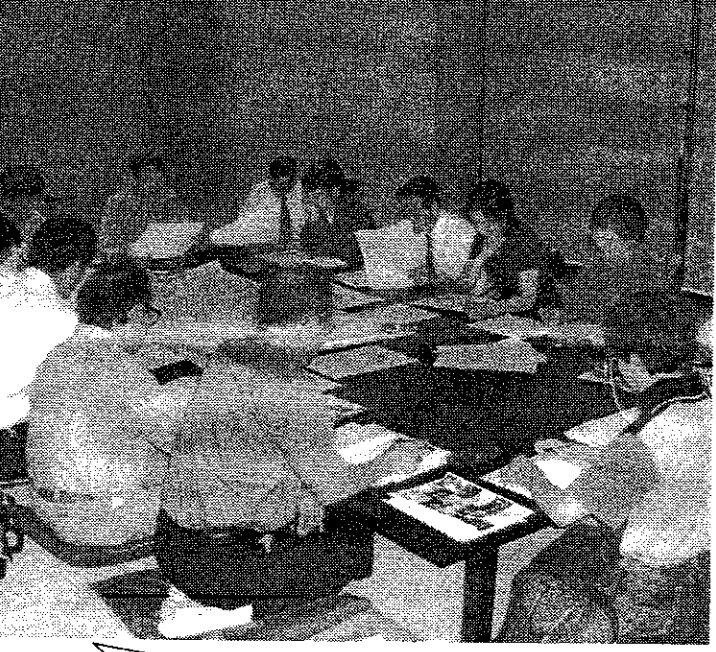


一回の実行委員会を開く。33人が出席。金原メダカのおいしい弁当を食べるか、もう言いたい放題。「養護施設や授産所の子どもたちを招待したら:」「なんなら実行委員が一人二万円出してみんなを無料招待しよう」なんて意見も飛び出す始末。「こんなことしていたら時間がいくらあっても足りないから分かれてやったらあ:」。いい意見が出て「総務」「会場」「広報とチケット」「招待と接待」「演出と雰

囲気づくり」—五つの班に分かれて話し合った。これまた活発。これ以降は各班ごとに会合を開いて、詰めに入っている。この元氣さと熱気はなんだ—まさに「建学の精神」の言うところの『あつけらんかんとして楽天的で挑戦的心を持つこと、もう一人の自分をみつけ、もう一人のあなた発掘』なのである。みんなが主役。成功間違いなし。



です~  
議で特別教室  
まりました。  
実行委員長や  
イ。武ちゃん



ほうねん座公演第2回実行委員会の責任者会議です。(豊岡・元氣村にて)

福岡県から給食当番できましたアツちゃんです。少しは視察勉強もしないと...32回校長の匂坂玲子さんのバラ園へ。——溝口メダカ



## ほうねん座「お祭りきやらばん」 公演 実行委員

- ◇総務・運営全般を統括する 鈴木武史 藤田潤吉 佐野文子、八木正子、八木正士、斎藤昭、中川泰、鈴木真弓、中嶋豊、服部守幸、
- ◇本島慎一郎、松本芳廣
- ◇会場全般・ロービーでの小さな物産展も含む 石野省三、原邦司、大谷香代子、本田量子、大橋町代(ゆめまる)、耳塚信博、深澤明男、佐藤律子、湯浅明美、横田良明、関京子、田口重孝(ゆめまる)、岡田清多良(ゆめまる)
- ◇広報およびチケット 加藤修一、杉山淳一、山崎敏明、松本泰榮、渡辺三ツ子、千葉弓江、寺田悦子、川島安一、中村明男、照井泰子、伊達公一、高橋俊光、伊藤八右
- ◇招待者および接待 伊藤美雄、徳増兼弘、水村春江、尾上美智子、内山ゆきゑ(地球村はままつ)、金原志郎、今村純子、松田不秋、牧野久子
- ◇演出・会場全体の雰囲気づくり他 高森久枝、藤田吉恭、落合啓二、伊藤茂男、溝口久
- ◇総括および事務局 柳原幸雄

☆役者さんもお客さんめだか生もひとりひとりが主役:と9月13日に実行委員会を立ち上げ、活動しています。「当日は出席できないけど」「当日だけ」という生徒もいます。それぞれに参加の方法は自由です。実行委員ご希望の生徒は、実行委員長鈴木武史 TEL 0537-48-3060 携帯 090-1984-0680・メール kdsaiyd@doco



◇?歳の誕生日に頂いた記念すべき豪華プレゼント『教頭司会』...。眠れない日々を送り迎えた当日でしたが、頼りになる中村校長と、とにかく陽気な原用務員、そしてどんな時にも賑やかで明るく、子供のように純真なめだかの皆さん、一人一人が会を盛り上げてくださったお陰で、無事大役を終えることができました。無口で?控え目?な私もやっとめだかの一員になれた:そんな気がした夜(ひととき)でした。素晴らしい歌声でしたね。本当に有難うございました。感謝、感謝です。

第33回教頭佐藤律子  
◇森町からひたすら学舎の「いなさ自然休養村つみくさ」へやっついたら

☆鈴木武史メダカの街、大須賀町で、10月26・27・28の3日間、横須賀の町並みを使って「遠州横須賀街道ちっちゃな文化展」が開かれる。いろいろなジャンルのアーティストが、お店や民家や神社や街角で思い思いの作品を展示する。鈴木真弓メダカがマクラメで、耳塚信博メダカは石筆器と心象画で展示参加する。松本芳廣メダカは、27日にそば道場を開く。大須賀町には鳥山剛、竹内誠人、深谷孝、大石忠志ら元メダカがウヨウヨ。いいところですよ。ちよつとのぞいてみたら...

☆本島慎一郎メダカが代表の、三遠南信ひとネットワーク「ゆめまる」の、「三遠南信」2001年ゆめまる」と語ろうかいin南信濃村」が、10月27日11時から28日14時まで、一泊二日で、長野県南信濃村の南信濃村福祉センターで開かれる。11時からA・Bコースで気の場や史跡散策したり、15時から地域性を基本テーマとした8つの分科会がある。夜は交流会や夜を徹しての夜ナベ談義。28日は兵越峠に出陣して水窪町と南信濃村との峠の国盗り綱引きに参加する。田中長野原知事も参加予定で面白そう。会費は一泊三食交流会費まで込み六千円。お問い合わせは、本島メダカ0539・25・2792まで。

☆小嶋良三メダカ実行委員長の、しずおか未来づくりネットワーク交流事業実行委員会主催の、フオーラム『私の提案―地域を国際化するために』が、10月27日午後3時から静岡市七間町の静岡朝日テレビ2階ホールで開かれる。特に今回は28日正午から行われる朝鮮通信使再現行列（小嶋良三メダカ実行委員長）との関連もあり、国際交流、歴史の意味あひもっている。10月10日締切りですが、ご希望の方は、事務局053・545・0381榊原メダカまで「ご連絡下さい。」

◆事務局より

盛り上がりで盛り上がった第三十三回めだかの学校... そんな雰囲気を出席できなかったメダカ生に感じてもらおうと「ほうねん座公演」特別教室」と合わせて特別号を発行することにしました。

写真をお願い載せて「エーツと、写真をとっていたのは？。いたいた松本芳廣メダカがデジタルで撮っていた。ちよつどいい。電話して送ってもらったーマイッタ！。給食の調理風景と建学の精神を唱和しているところがない。松本カメラマン給食の時間で一杯飲んでいい気分。歌って歌ってもつといい気分「ヤメメ！」。

三十三回目的時間割は、六時二〇分の校歌斉唱にはじめて新入生紹介、校長訓話、九期第一回目でもあり、初心にかえろう！と「建学の精神」を全員で起立唱和する。声を出すのはいい。つづいて事務局から十二月九日の特別教室「ほうねん座公演」の説明。実行委員長などを決める。さあ、お待ちかねの給食の時間、ハイ、二〇分間で食べて！。ハイ、片付けて。「ちよつと待って！「ダメ！」。エイ、グイー、効く。

「大いに歌おう、天まで届け、」生憎の空模様で給食室の楽夢亭で。元氣印のメダカを小さな池に離すようなもの。もうダメ！。

「さあ、はじまり、はじまり！」とばかりに藤田潤吉、高森久枝コンビメダカの息のあったところの、三味線ドイトツと津軽じょんがら節。グーと趣きが変わって、提出数11曲で一番多かった「ふるさと」、杉本弘メダカのギター伴奏で歌う。「里の秋」「赤とんぼ」「荒城の月」伴奏は伊藤英雄、徳増兼弘コンビメダカのハーモニー。まっせましたーと思いきや、徳増メダカ「練習しすぎて口の中を切ってしまった伴奏できない。口伴奏で「勤弁を！」。英雄メダカ見事伴奏役をつとめる。拍手！。大正琴の伴奏で「増生の宿」「大きな古時計」とつづく。あれ？綺麗な声、なんと名和宇宙歩子メダカちゃんか、お母さんメダカと歌っている。ウワァー最後まで歌ったおっ、「手のひらを太陽に」、私の提出した歌

だ。カラオケはダメなのに、前に出て歌う。うーん、いい気分。続いて提出者が多かった「四季の歌」「上を向いて歩こう」... 思の合ったところて歌って、第一部は終わり... 新三役決定の時間。その前座として西原弘メダカの沖繩民謡「ハイサイおじさん」。まア気分よくパンジョウ弾いて。岐阜県福岡町の早川メダカも加わって。加茂光廣メダカのネパールの恋歌「レッサンピリリー」尻ふりも色っぽく酔うかのように。杉山淳一メダカの「ジャンキーター」。いいねえ。静かな部屋であなたと二人で「もつといい。飛び入りの早川メダカ、若かりし頃からのフオーク。そして御待ち兼ねの、ドキドキ三役発表。校長寺田悦子、教頭杉山淳一、用務員耳塚信博。これまたユニークトリオ。お祝いに「ほうねん座の」大山捷夫さんが「安木節」を踊る。なんともいえない仕事がいい。ついでに「ムニヤ」顔。

さあ、第二部のまじまり。藤田潤吉メダカの三味線で「お祭りまじまり」「結婚しようよ」「いい日旅立ち」「川の流れるように」二曲をカラオケをバックに歌う。ちよつと大人のムード。「薔薇が咲いた」。バラといえはご入、第三十二回校長句坂玲子メダカとバラちゃんメダカ。あれ？みん前前に出てこない。句坂前校長先生差しのメダカが前に出てきてしまった。メダカの生徒もゲンキンです。マツ、イツカ。「恋の季節」は振り付けなくっちゃ、と、渡邊三ツ子メダカ。帽子まで用意してくる。そして杉本弘メダカの「思い出の渚」。まさに我が青春時代。興にのった溝口久メダカ。「バラさんが死んだら」「おらは死んじまった」を歌ってやるよ。「あつたけ？」後で明美さん(妻)に「遺言を書こう。俺が死んだら溝口久を真ん中に「おらは死んじまった」をメダカの仲間にも歌ってもらったら叱られた。

夜も更けました。藤田吉恭メダカのチンドンを先頭に大きな輪をつくり、手をつなぎながら「明日日はさようなら」を歌う。最後に「今日の日はさようなら」を肩を組みながら歌いハミンしながら「去り行く夏を惜しみ、友とのひとときの別れを惜しみつつ」おやすみなさい。

めだか達は、学校が終わったあととも余韻を楽しむかのように群れていました。

音楽全般をまとめてくれた中村明男校長先生、名進行役で会を盛り上げてくれた佐藤律子教頭先生、原邦司用務員さん。伴奏をしてくれたメダカさん。全部の歌詞を揃えてくれた杉本弘メダカさん、ご苦労様でした。

東栗町のメダカの生徒で元教頭平本尚久さんが九月一七日午後五時一五分、豊橋の病院で亡くなられました。享年六八歳。六月の「メダカの学校」には元氣に出席していたのに残念です。心から「冥福をお祈りいたします。心からなお、ご霊前には、「メダカの学校」生徒代表として榊原幸雄がお別れさせていただきます。

九期の継続手続きを忘れていませんか。9期(十三年九月一日)十四年八月三十一日)の継続手続きを行っています。まだ手続きを済ませていない生徒には再度申込書を同封します。早急に済ませて下さい。未手続きの生徒は、今回の特別号をもって、名簿からはずれ、自動退学となります。ご注意ください。

お知らせ 第三四号の「めだかの学校だより」は、発行が十一月一〇日頃になります。めだかの生徒が関係する催事が一〇月末集中しており、その記事を掲載したいと思えますので「ご了承下さい。」